

静岡市城北公園再整備 懇談会
【第1回】

2025.02.12

イントロダクション（はじめまして）



自分のニックネームを
教えてください。

場づくりのためのルール

誰もが安心して発言できる雰囲気を作りましょう。

1. 1人ひとりの発言を尊重する
2. 発言時間を守る
3. 相互理解の促進
4. お互いの立場を尊重する
5. 対話を重視する
6. 結論を急がない

結論を出すことよりも、プロセスを重視しながら、
得られた意見を今後の計画の参考にできる形に整理する

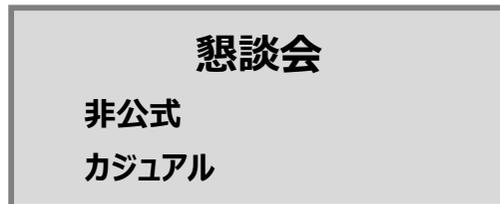
楽しく有意義な懇談会にしていきましょう！

ファシリテーターとは

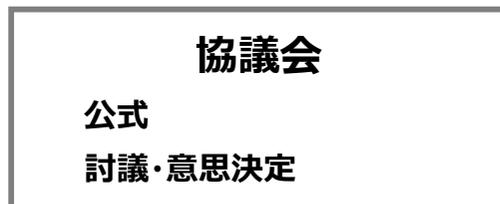
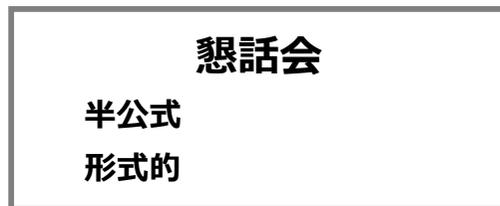
会議やワークショップなどの場で、
参加者が効果的にコミュニケーションを取り、
目標を達成するための支援を行う役割を担う人です。

1. 議論の進行
2. 多様な意見の引き出し
3. 相互理解の促進
4. 意見の整理（合意形成の支援）
5. 問題解決の支援
6. 公平で安心できる場の確保

懇談会・懇話会・協議会



…… 静岡市城北公園再整備 懇談会（2024年12月14日静岡市提案）



懇談会・懇話会・協議会

懇談会
非公式
カジュアル



懇話会
半公式
形式的

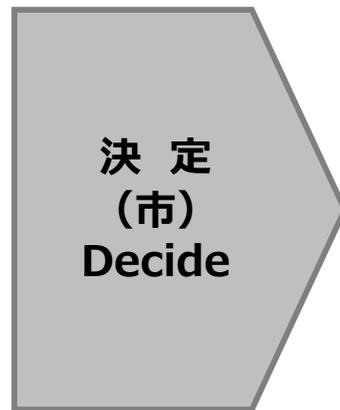


協議会
公式
討議・意思決定

…… 静岡市城北公園再整備 懇談会（2024年12月14日静岡市提案）

どんな会にしていくか！

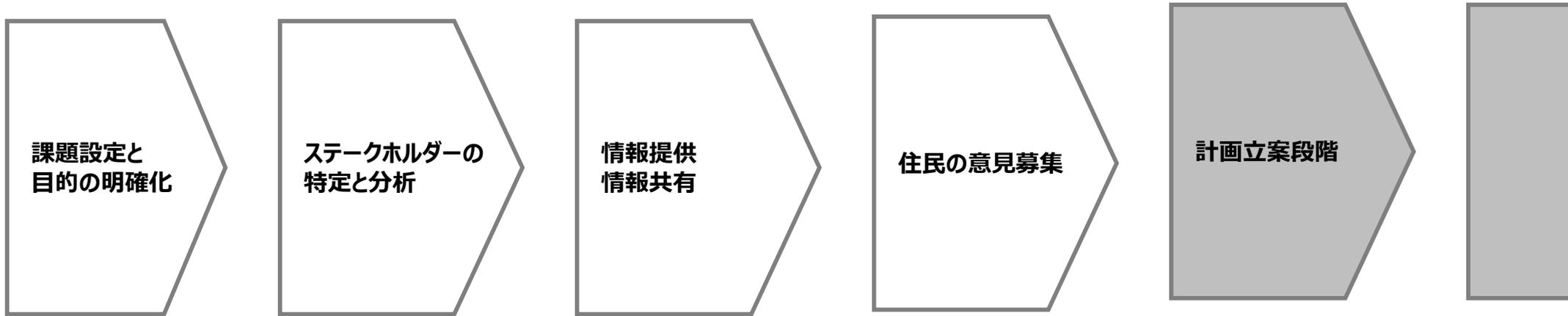
これまでの公共事業の進め方



市民参加型の公共事業の進め方

市民参画の目的

住民やステークホルダーが公共事業の意思決定過程に関与し、その過程を通じて課題や選択肢を共有し、より良い計画を策定すること。



ニーズとウォンツの把握を重視

ニーズ (Needs)

基本的な期待や問題解決の要請
地域社会や公共事業にとっての本質的な必要性
現実的かつ社会的問題を解決するための客観的な必要条件

ウォンツ (Wants)

ニーズを前提に、具体的な方法や希望条件として提示される要求や選好
社会全体や関係者個々の希望として提示される解決策・手段

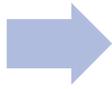
懇談会の進め方（全4回）

公園で、〇〇をするためには、

〇〇が必要だ。

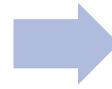
第1回 ニーズ 拡散（現在）

- できるだけたくさん
- ニーズの整理
- ウォンツの整理
- どういう公園にしたいか



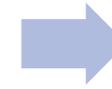
第2回 コード 収束（未来）

- 場のコード（性格）
- ターゲティング
- 公園で何がしたいか
- 何をするための公園か
- 持続可能性



第3回 デザイン デザイン （ハード・ソフト）

- ハードデザインへの落とし込み
- ソフトデザイン
ルールづくり
- 協働できること



第4回 提言 言語化

- 提言のまとめ
- 今後のフィードバックの確認

市民参加の方法は？

PI (パブリック・インボルブメント) (PI: Public Involvement)

Public : 市民・企業 (ステークホルダ)

(公共の、公開の、大衆が参加する)

Involvement : 関与

(主体的な参加や積極的な関与)



Process : プロセス

1960～70年代に米国で環境問題を契機に始まった。

目的 ≠ 合意形成

紛争解決 (ADR) とは別

ADR (Alternative Dispute Resolution、代替的紛争解決)

政策立案のプロセス 上流段階で行うべきもの

ニーズは何か？ ウォンツは何か？

問題は何か？ 問題は本当に問題か？ 誰にとっての問題か？